

開催しました

創立130周年記念イベント



○かわべの宵(令和2年10月4日)
新しい鶴岡の観覧方法を提案する実証実験として企画
川岸からの鶴岡観覧を新たな観光資源としてPR
※イベントの様子は動画で撮影し、観光プロモーション用のDVDを作成。

プレイベント



○小和田哲男氏講演会
「謎多き明智光秀の実像に迫る」
(令和2年1月28日)



○北川悦史子氏スペシャルトークショー
「半分、青い。～ふるさと岐阜(清流ブル
ー)を想う～」(令和元年10月8日)



柴橋 正直 岐阜市長 古田 肇 岐阜県知事 島山 一成 中部経済産業局長 三村 明夫 日本商工会議所会頭

祝辞 ビデオメッセージ



岐阜商工会議所 創立130周年記念
議員懇親会



書道パフォーマンス 岐阜女子大学書道部



オープニングセレモニー 岐阜芸妓組合による祝舞



乾杯 廣田副会頭



村瀬幸雄会頭 挨拶

新たな時代へ

岐阜商工会議所創立130周年記念議員懇親会 開催

当所では、去る12月1日に役員・議員等約100名のご参加のもと、
130周年の節目祝う議員懇親会を開催しました。

(場所: 郡ホテル岐阜長良川)

新たな時代に向け、さらなる岐阜市の発展に尽力してまいります



苦難を乗り越え一致団結

創立130周年の節目を迎えるに
あたり、歴史を振り返りますと明治
17年(1884年)6月25日に岐阜商
工会議所の前身とも「ルート」ともい
える岐阜商工会が創立されました。
そして明治23年(1890年)12月20
日に岐阜商業会議所、現在の岐阜商
工会議所が誕生しました。現在、日
本国内には515の商工会議所があ
りますが、その中でも岐阜商工会議
所は22番目と、早い時期に創立され
ております。

きっかけは、東海道本線を岐阜へ
敷設するにあたり、「どのような路
線(ルート)を望むか」という国から
の諮問に対し、地元の商工業者が話
し合いのため集まり答申案を練った
ことと言われております。

会議所の創立から現在に至るまで、
明治から大正、昭和、平成の4つの
時代を経て現在の令和と、この13
0年間において日本も岐阜市も大
きく経済成長を成し遂げてまいりま
した。一方で、震災をはじめ大戦の
混乱と疲弊、バブル崩壊など苦難も
少なからずございました。なかでも
特に大きな3つの出来事がございます。

1つ目は、会議所創立直後、1年
も経たない明治24年(1891年)10
月に起きた「濃尾大地震」であります。

この大地震は前年の世界大恐慌に追
い打ちをかけるように、岐阜地方に
壊滅的な被害をもたらした。商工業者に
大きな打撃を与えたほか、岐阜商工
会議所の事務所も全焼するなど、会
議所にとっても多難な船出となりま
した。一方、その年の12月には、被
災商工業者の救済のために、国に意
見書を提出するなど、全力で取り組
みをいたしました。

2つ目は、第二次世界大戦中、昭
和20年(1945年)7月の二度にわ
たる「岐阜空襲」であります。岐阜市
街地の8割が焼野原と化し、市民が
最も困ったことは生活必需品を売る
店が一軒もなかったこと、焼け跡の
露店に並ぶ商品は異常ともいえる高
値であったことでした。そこで岐阜
商工会議所が中心となり、共同店舗
式総合市場を設け、市民への日用品
の安定供給のほか、被災を受けた業
者や失業者の救済、さらには商業の
復活を図りました。

3つ目は、昭和51年(1976年)
に起きた「9・12豪雨水害」であり
ます。県下全域がしのつくような大
雨に見舞われ、長良川堤防が決壊す
るなど、美濃地方を中心に大きな被
害をもたらしました。この水害によ
る被害総額は1400億円以上にの
ぼり、岐阜商工会議所では緊急融資

と税制措置について、関係方面へ陳
情や要望を行い、会員全員に会頭名
で見舞状と見舞品(清酒一本)を贈る
とともに被害地区には水害対策巡回
相談車を出勤させるなど、会議所を
あげて対策に取り組みました。

いずれの出来事も岐阜に住む人々
の英知を結集し、難局をともに乗り
越えてきた歴史でもあります。特に
「岐阜空襲」は空襲によって荒廃した
土地から草木が力強く芽を吹くよう
に『岐阜繊維問屋町』を発祥させ、こ
れが岐阜の街の復興の牽引役を担う
こととなりました。繊維業のルーツ
を辿ると、未曾有の難局を乗り越え
た結果、生まれた産業の華と言える
のではないのでしょうか。

130年が経過した今、経済のグ
ローバル化は加速的に進み、地域
の商工業者は国際社会の動向を見極
め、柔軟に対応するとともに、競争
力を磨き強化していかなければなり
ません。同時に、国内においては、
人口減少や少子高齢化の進展による
市場規模の縮小、人手不足や事業承
継等の課題に対処していかなければ
なりません。

一方、130周年のこの節目の年
に新型コロナウイルス感染症が世界
各国で猛威を振るい、現在では第3
波により多くの商工業者が大きな打
撃を受けております。先人の方々は、

これまで様々な難局を乗り越えると
同時に、新しい産業を創り出し、技
術を培い、知恵を絞り、知見を蓄積
してこられました。この岐阜の地に
は諸先輩方から受け継いだチャレン
ジ精神であり、産業であり、技術で
あり、知見がしっかりと根付いてお
ります。

コロナ禍では、新しい発想により
「ウチ店」や「支エール」のサイトを立
ち上げ、また会員の各種相談に真摯
に向き合い、会議所の存在感を示す
ことができました。今を生きる我々
が一致団結し知恵を出し合うことで、
必ずやこの危機を乗り越え、新たな
未来を切り開くことができると確信
いたしております。

この答え合わせは10年後の140
周年、あるいは20年後の150周年
の時しか分かりませんが、岐阜商工
会議所では新たな時代に向け、さら
なる岐阜市の発展に尽力して参る所
存でございます。

結びに、本日ご出席の皆様には引
き続きご支援・ご指導賜りますと
ともに、皆様のご健康・ご多幸、そし
てますますのご発展を祈念いたしま
す。私のご挨拶とさせていただきます。

令和2年12月1日

岐阜商工会議所
会頭 村瀬 幸雄